



上田 よしお 市政報告



発行者:上田よしお後援会・上田よしお市政相談所 住所:茨木市玉瀬町7番9号 TEL/FAX:072-635-4978 E-mail:yoshio-v@hcn.zaq.ne.jp

暑中お見舞い申し上げます

皆様にはご健勝で活躍のこととお喜び申し上げます。平素は私、上田よしお(嘉夫)にご指導ご鞭撻を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

お陰様で、皆様のご支援の下、一期四年目に入り、議員としての責任をさらに実感しているところです。現在私は、民生常任委員会委員長に、過去三年間では総務・建設・文教のそれぞれ常任委員を歴任いたしました。初当選で三年目には監査委員の重責を与えられた事は大変光栄に思うとともに、市民の皆様のお役に少しでも立てますように頑張っております。なければと強く思うところであります。

さて、茨木市の状況ですが、今年四月に茨木市長選挙があり現市長の野村宣一氏が二期目の当選を果たしました。市長の四年間で経費の削減や効率化を考え「民」で出来る事は「民」にと、施設の管理業務を民間にお願いするなど、経費の削減を図り余剰金を子どもの教育や子育て支援などの充実を図ってきた事に評価し、推薦してまいりました。

最近の大分教育委員会の汚職事件など、子どもたちの教育に関わる現場で大きなゆがみが生じております。また子どもを巻き込んだ凶悪犯罪の発生など、未来を担う子どもの育成の妨げになる事件が起

きたるたびに、もつともつと大人である私たちが気を引き締めていかなければならないと切に思います。教育現場に携わる人々は教職員の皆さんだけではなく、保護者の皆様はもちろんです。子どもたちのために何が出来るかを考え守って下さっている皆様の連携も大切だと考えております。あいさつ運動から始まり、お近くに住む子どもたちに今一度あたたい目を向けていただけますようお願いいたします。そして、子どもたちが希望を持てる茨木市、住み続けたいと思う都市「茨木市」にしていけるよう頑張りたいと思っております。そのためにも、皆様のお

住まいの周りで起きている問題点やご不安に思われる事がございましたら、是非お教えいただき、少しでもお役に立てたらと思っております。市民の皆様の声を行政に伝え、実行ある政治を目指し、次期へつなげて参りたいと思っております。最後になりましたが、大変暑さ厳しい夏でございますが、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

茨木市議会議員 上田よしお (嘉夫)

市政報告会

市政報告会は茨木市議会本会の他毎回ご参加いただいた皆様議終了後に毎回行っておりまの意見交換をこの機会にす。今年第9回目を3月29日開催。野村市長も来て頂き報告会を行いました。第10回目は6月28日に開催し代表質問等の内容について報告を行いました。

市民の関心が高いと思われる身近に起きるであろう、今後の対策として、茨木市消費生活センターから「あなたも私も被害者・知って得する日常の常識」と題して講演を行いました。その



第9回市政報告会 3月29日(土)



第10回市政報告会 6月28日(土)

茨木市の予算と支出について

3月議会で平成20年度の当初(骨格)予算が決まりましたが6月議会で補正予算を加え一般会計751億8983万円、となり前年度対比0.8%増で、その他財産区特別会計60億0360万円、国民健康保険事業特別会計251億5188万円、老人保健医療事業特別会計30億0305万円、後期高齢者医療事業特別会計23億7434万円、介護保険事業特別会計107億7560万円、公共下水道事業特別会計98億3000万円、水道事業会計95億3733万円、合計1418億6566万円です。今年度の予算総額は前年度対比約89億円の減少となっており、一般会計は増えたものの特別会計で制度の変更等により当初予算として緊縮予算となっている。

頑張る地方応援プログラムを策定

「頑張る地方応援プログラム」とは、地方独自のプロジェクトを自ら考え、前向きに取り組む地方公共団体を国が応援しようというもので、総務省が平成19年度からスタートさせた特別交付税などの支援措置を講じる制度です。茨木市では、平成19年度の第1次募集で「企業立地(事業活動)支援事業プロジェクト」、第2次募集で「茨木市里山センター運営事業プロジェクト」、「在宅子育て支援事業プロジェクト」、「環境実践都市推進事業プロジェクト」を策定し国の制度を早く取り入れ取り組んでおります。特に茨木市内からの大企業撤退移転等は茨木市の財政に大きく影響を来すためと予想されます。今年3月閉鎖されたJR茨木駅に近いサッポロ大阪工場跡地の再開発に茨木市は、官民一体となり、茨木市の都市の顔となり、未来の茨木にふさわしい都市づくりをしていかなければならないと思っております。又北部開発で東部地区・中部地区の計画について、東部地区は2008年3月にURが開発から

